

イルジー・ピエロフラーヴェク 指揮

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団



© Masayuki Nakajima

イルジー・
ピエロフラーヴェク

(首席指揮者)

Jiří Bělohlávek
Chief Conductor

1946年プラハ生まれ。幼少時より音楽を深く愛し、チェロと指揮を学んだ後、1968年にセルジュ・チェリビダッケに招かれて助手となった。1970年チェコの若手指

揮者のためのコンクールで優勝、翌年にはカラヤン指揮者コンクールで最終選考に進出した。

1977年にプラハ交響楽団の首席指揮者、1990年にチェコ・フィルの首席指揮者となる。チェコ・フィルへは2012年に復帰し、世界中から歓迎を受けた。また、1994年プラハ・フィルハーモニアを結成して2005年まで音楽監督を務め、同年、桂冠指揮者となった。

BBC交響楽団では1995年から2000年まで首席客演指揮者を務め、2006年に首席指揮者となった。2007年のプロムス最終夜で同楽団を指揮し、この重責を担った初めての英語を母国語としないアーティストである。プロムス最終夜には2010年と2012年にも出演している。

加えてこれまでに、ベルリン・フィル、ボストン響、クリーヴランド管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ニューヨーク・フィル、ドレスデン国立歌劇場管、サンフランシスコ響など世界有数のオーケストラを指揮している。近年、ロッテルダム・フィルの首席客員指揮者に指名された。

録音作品は、最近デッカからリリースされたドヴォルザークの交響曲全曲を含め多数ある。2年連続でグラモフォン賞のオーケストラ部門を受賞し、カラヤン以後この快挙を成し遂げた初の指揮者となった。2012年には、音楽への貢献を称え、英国エリザベス女王より大英帝国勲章のCBE勲章が授与された。

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
Czech Philharmonic Orchestra

チェコ・フィルはこれまで一世紀以上に渡って、その暖かみのある鮮やかな音色で世界中の聴衆を魅了し、チェコ文化の偉大な功績であり続けてきた。ドヴォルザークは、1896年1月4日にプラハのルドルフィヌムで、同楽団の最初の公演を指揮した。ルドルフィヌムは、今も同楽団の本拠地であり、現在ではオーケストラ・アカデミーの中心となっている。アカデミーは、多くの教育プロジェクトの一つとして、クラシック音楽に新たな聴衆を招いている。その他に同楽団の歴史に登場した指揮者には、グスタフ・マーラーがいる。彼は1908年プラハで同楽団を指揮し、交響曲第7番を世界初演した。同楽団は、ヴァーツラフ・ターリヒ、ラファエル・クーベリック、カレル・アンチェルらによって、欧州最高のオーケストラとして名声を高めてきた。



© Kishin Shinoyama

庄司紗矢香

(ヴァイオリン)

Sayaka Shoji
Violin

1999年、バガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで史上最年少、日本人として初めて優勝して以来、アシケナージ、デュトワ、ヤンソンス、マゼールといった世界を代表する指揮者、ロンドン響、ドイツ・カンマー

フィル、サンクトペテルブルク・フィル等の著名オーケストラと多数共演。2013年12月にはユーリ・テミルカーノフの75歳バースデイ・ガラ・コンサートに旧ソ連系以外の演奏家で唯一招待された。ソリストとして活躍する一方、室内楽の活動にも力を入れており、これまでにレービン、イッサーリス、ランラン、ゴランなどと共演。

ドイツ・グラモフォンより多くのCDをリリースしており、2015年春にはカシオーリとのベートーヴェン・ヴァイオリン・ソナタ全曲録音チクルスの最終作品集をリリース予定。使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1729年製ストラディヴァリウス「レカミエ(Recamier)」である。



© Petra Hajkál

近年、同楽団は、エレヌス・グリモー、ラン・ラン、ジャンヌ・ヤンセン、アンネ・ゾフィー・ムターらと共演。さらに、首席指揮者イルジー・ピエロフラーヴェクの下、ガリック・オールソン、フランク・ペーター・ツィンマーマン、アリサ・ワイラースタインと共にドヴォルザークの3つの協奏曲を録音し、9曲の交響曲と共に2014年にデッカからリリースされた。

多くの客員指揮者の中には、ヘルベルト・ブロムシュテット、セミヨン・ビシュコフ、ワレリー・ゲルギエフ、ファビオ・ルイジ、ロビン・ティッチアーティ、デヴィッド・ジンマンがいる。

このほか、作曲家コンクールとソリスト・コンクールを通じて新たな才能の育成に努めるなど、チェコ・フィルは一層の躍進を続けている。

ACROS Club
アカロス友の会
会員募集中

福岡シンフォニーホールを中心に音楽・舞台芸術の公演を、皆様いち早くお知らせし、より便利にご利用いただけるよう、数々の特典をそろえてご入会をお待ちしています。

メールマガジン登録キャンペーン中!

アカロス福岡主催公演やイベント情報の紹介、チケット発売情報などの最新情報を無料で配信いたします。ぜひご登録下さい。

こちらから登録ください <http://www.acros.or.jp>

抽選で公演チケットなどプレゼント!



携帯サイト

● 託児サービスのご案内

託児サービス(生後4ヶ月から小学校入学前のお子様)をご希望の方は、チケットご購入の後、右記にお申し込みください。受付は公演前日(土・日・祝日は受付を行いません)までですが、定員になり次第締め切らせていただくことがあります。

● (株)テノコーポレーション (月~金曜日 9:00~18:00)

☎ 0120-8000-29 tel.092-263-8040
なお、託児料の一部としてお子様一人につき1,000円(消費税込)をご負担いただきます。

アカロス福岡チケットセンター 10:00~18:00

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1-1 西館2F TEL 092-725-9112 FAX 092-725-9102 <http://www.acros.or.jp>

アカロス福岡

検索